



<施工される方へ>

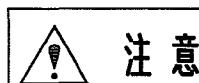
- ・設置工事の前に、この施工マニュアルをよくお読みのうえ、正しく据えつけて下さい。
- ・この施工マニュアルは施工後必ず、お客様に取扱説明書と共に保管していただくよう、ご説明下さい。

1. 安全のために必ずお守り下さい。

ここに示した事項は  **警告**  **注意** に区分しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡又は重傷の危険や物的損傷の発生が予想されることを表しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損傷の発生が予想されることを表しています。

また、 マークは「禁止」、 マークは「強制」を表しています。

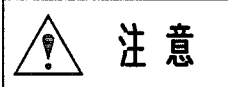
2. 施工上の注意（必ずお守り下さい。）



この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡又は重傷の危険や物的損傷の発生が予想されることを表しています。

- (1) 施工は販売店へ依頼すること。
- (2) 電気設備に関する技術基準、電気工事は指定の工事店に依頼するなど法例の基準を守る。
- (3) コンクリート上など、穴が掘れないところへの施工禁止。





注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が
負傷する危険や物損傷の発生が予想されることを表して
います。

(4) 次の場所には施工しないこと。

- ・水平でない場所
- ・砂地
- ・極端にホコリの多い場所



(5) アース工事をする事。(別途工事要)

- ・アース工事を確実に行ってください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
- ・アース工事は販売店にご相談下さい。



3. 開こん

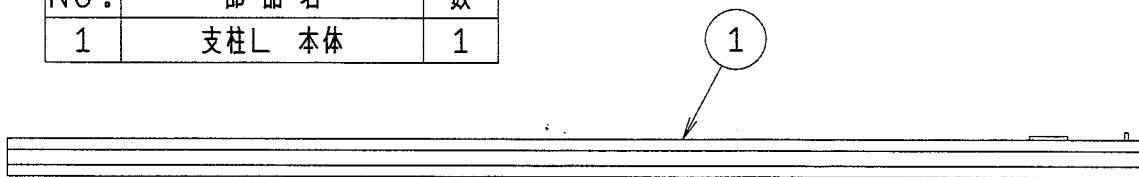
新日軽「らくらくポール」をご使用になるためには、必ず次の製品が必要です。あらかじめご準備の上、工事を行って下さい。

- (1) 支柱L梱包: ENAMCL
- (2) 支柱R梱包: ENAMCR
- (3) シャフトカバー梱包: ENAMSC
- (4) 物干し台梱包: ENAMBH

据付工事を始める前に、同梱部品の種類と数を確認して下さい。

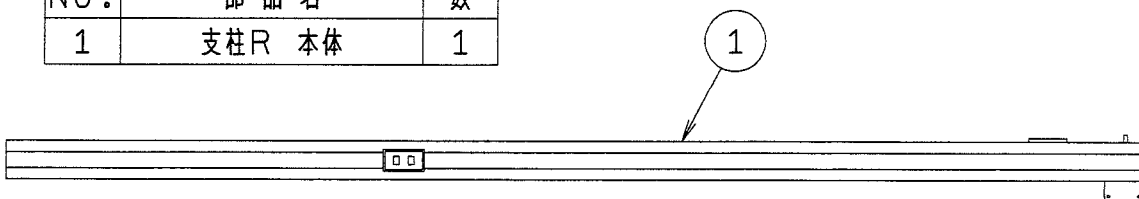
(1) 支柱L梱包: ENAMCL

No.	部品名	数
1	支柱L 本体	1



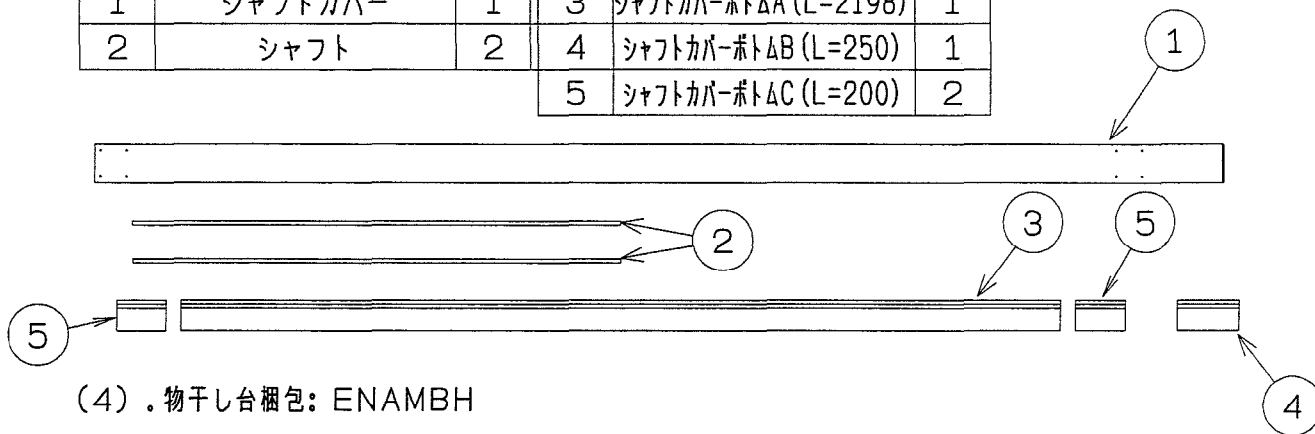
(2) 支柱R梱包: ENAMCR

No.	部品名	数
1	支柱R 本体	1



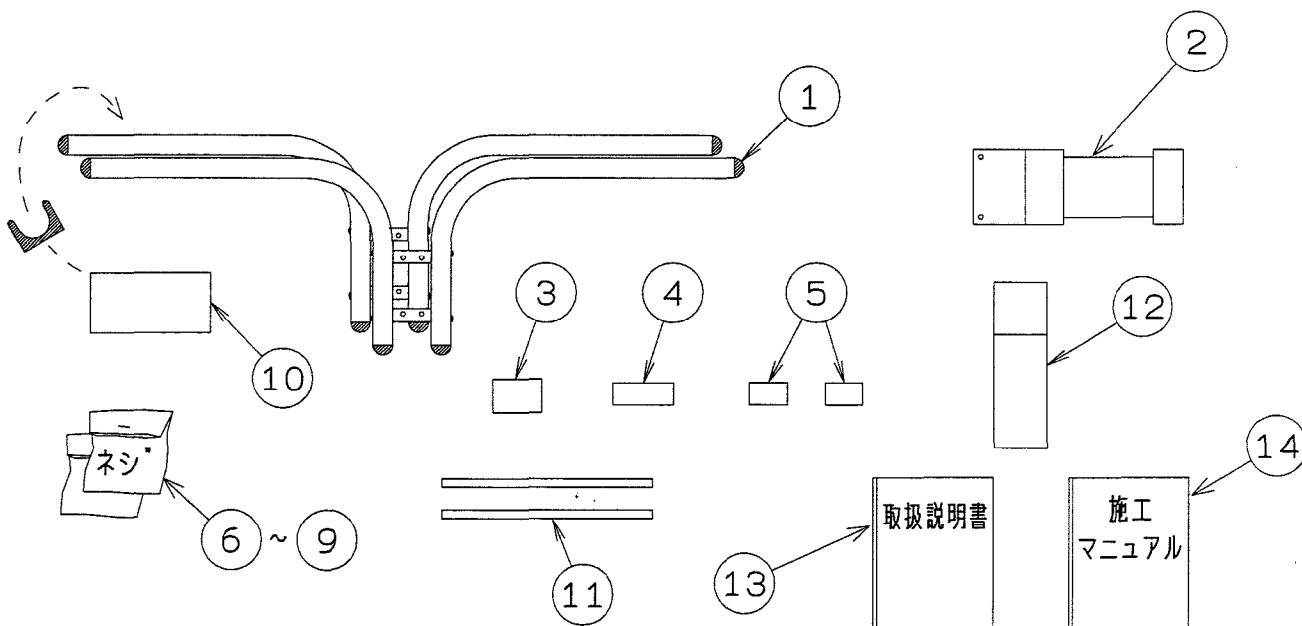
(3) .シャフトカバー梱包: ENAMSC

No.	部品名	数	No.	部品名	数
1	シャフトカバー	1	3	シャフトカバーポットA (L=2198)	1
2	シャフト	2	4	シャフトカバーポットB (L=250)	1
			5	シャフトカバーポットC (L=200)	2



(4) .物干し台梱包: ENAMBH

No.	部品名	数	形式	No.	部品名	数
1	物干し台	2		8	M6×10皿ねじ	4
2	モーター、ギアヘッド	1		9	スプリングワッシャ(呼び6)	16
3	カップリングA(モーター用)	1	MCT-40-12-15	10	物干し台部品	1
4	カップリングB(シャフト中央)	1	MRG-32-12-12	11	アンカー棒	2
5	カップリングC(シャフト端部)	2	MRG-32C-12-12	12	スプレージェリス	1
6	M6×20バインドねじ	8		13	取扱説明書	1
7	M6×12バインドねじ	8		14	施工マニュアル	1

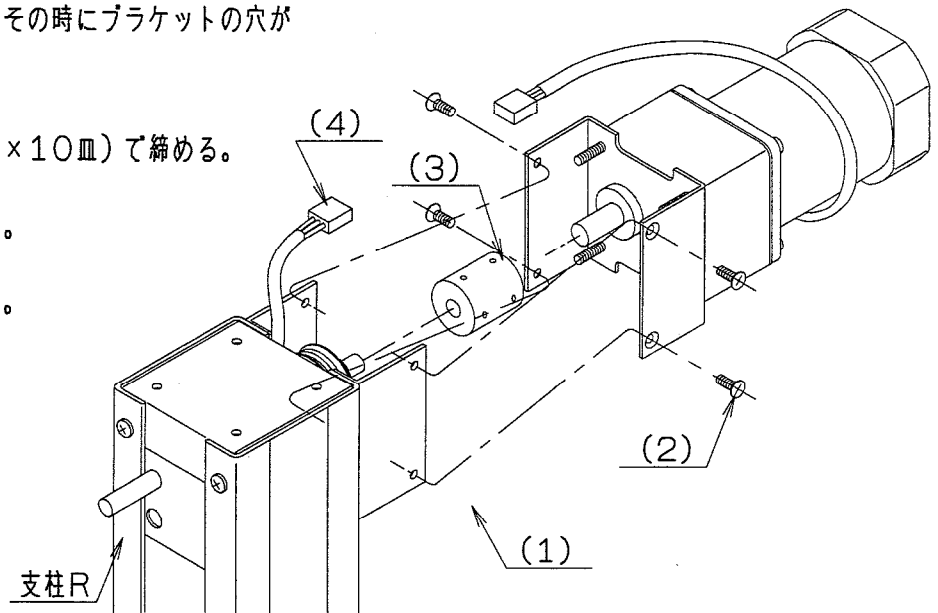


4. 据付場所の選定

- ・新日軽「らくらくポール」を据付する場所は、電気工事等の付帯工事及びアフターサービス・保守点検が容易にできる所を選択して下さい。
- ・水平で地盤の安定した場所を選定して下さい。
- ・コンクリートの上など穴が掘れない所への施工は危険なので絶対に行わないで下さい。

5. 支柱Rの組立

- (1) モーターシャフトと本体軸の中間に来るようにカップリングA (モーター用) を差し込む。その時にブラケットの穴が合うように気を付ける。
- (2) ブラケット同士をねじ (M6×10皿) で締める。
- (3) カップリングのねじを締める。
- (4) モーターのプラグを結線する。



6. 支柱L, Rを埋設する。

<モルタルを使用する場合の注意点>

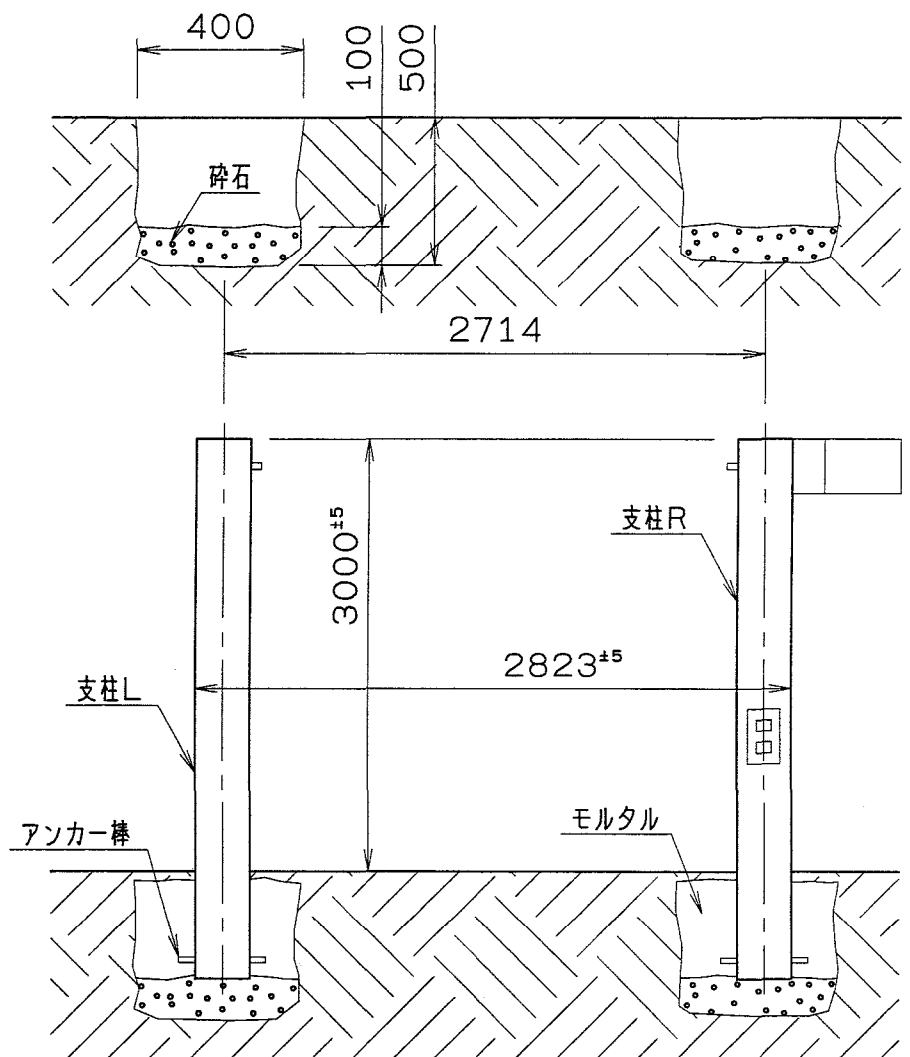
- 1) モルタルに海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐蝕の原因になりますので、その使用を避けていただくか十分水洗いしたものを使用して下さい。
- 2) モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意して下さい。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐蝕の原因になります。
- 3) モルタルやコンクリートの急結剤は腐蝕の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用して下さい。
- 4) 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃して下さい。また、表面にキズを付けますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意して下さい。

6. の続き

- (1) 据付場所を決め、寸法を測り、その場所に穴を掘る。
(縦400×横400×深さ500mm)
- (2) 碎石を100mm程敷く。
- (3) 支柱L, Rの下端にアンカーを差し込む。
- (4) 支柱L, Rを建てる。そのときに、以下の事に注意する。

- ・支柱を垂直に立てて下さい。
 - ・左右の支柱位置がねじれないようにして下さい。
 - ・支柱の高さを揃えて下さい。

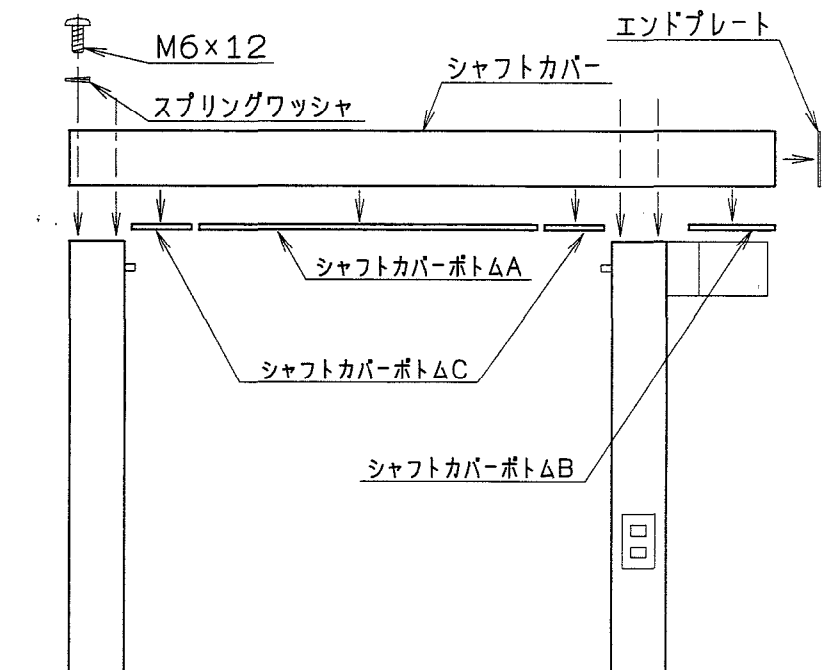
- (5) シャフトカバーを取付け、(ネジ止め) 上端の幅を決める。
(7. 参照)



7. 連結シャフトカバーの取付け (支柱固定前に)

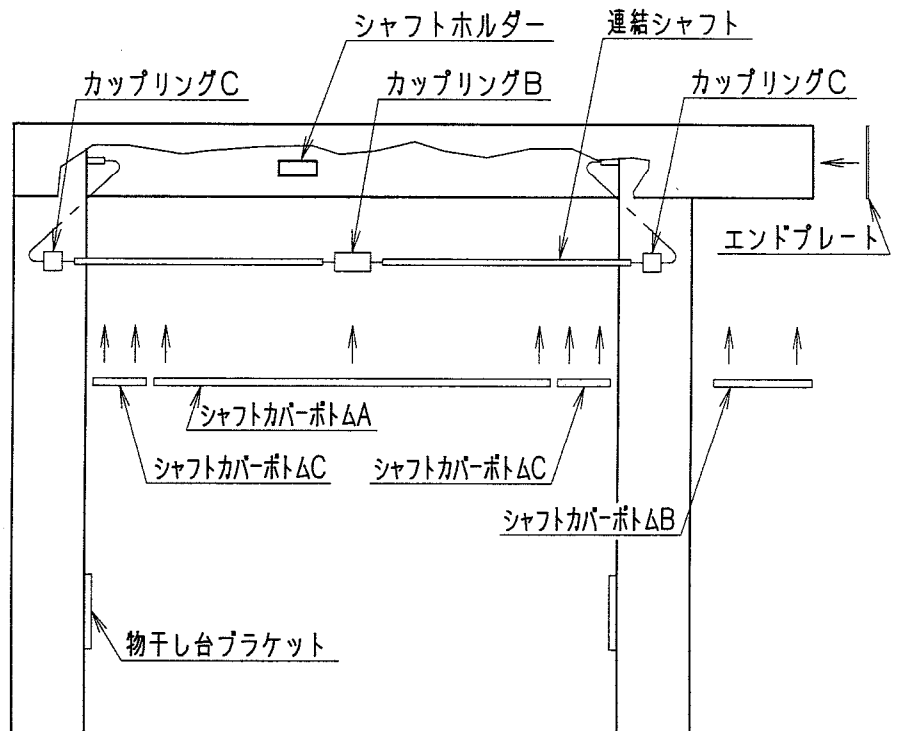
※ 連結シャフトカバーは幅を決める役割があるので必ずシャフトより先に取り付けて下さい。

- (1) まず、シャフトカバーの端部のエンドプレート、シャフトカバーボトムをすべて外します。
- (2) 上面から連結シャフトカバーををかぶせます。
- (3) 上面からねじ(M6×12バインド、スプリングワッシャ)で締め付けます。
- (4) このとき、「らくらくポール」全体が台形、平行四辺形等になっていないことを確認して下さい。



8. シャフト、シャフトカバーボトムの取付け

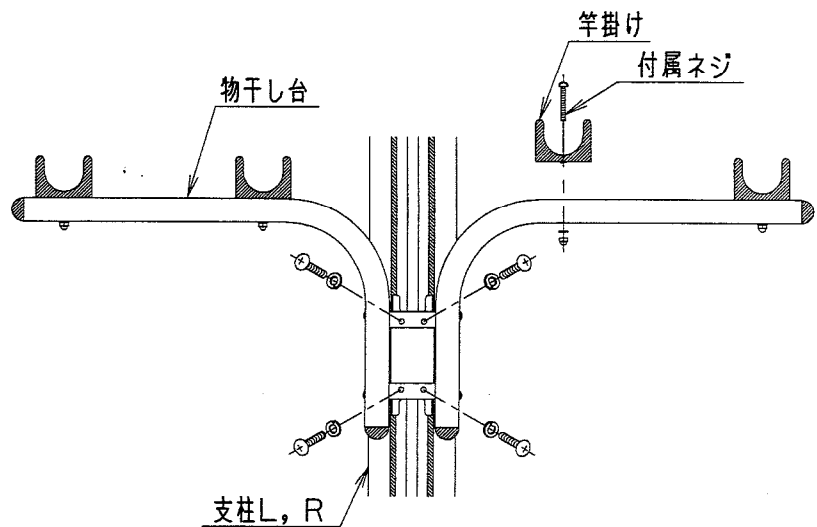
- (1) 2本のシャフトをカップリングBで2本のシャフトが突き当たるように連結します。
- (2) シャフトをシャフトホルダーの凹部で受けてからシャフトをカップリングCで本体軸と連結します。このときシャフトがたわまないように注意してください。
ねじは確実に締めつけて下さい
- (3) 物干し台ブラケットの左右の高さを確認して下さい。(差=±5mm) 出荷時にほぼ合わせていますが、シャフト取付け中に動くことがありますので、必ずシャフト取付け時に確認して下さい。



- (4) シャフトカバーボトムA、B、Cをねじ(十字穴付タッピン4種、4×12)で締め付けます。
- (5) シャフトカバー端部にエンドプレートを取り付けます。

9. 物干し台の組立て及び取付け

- (1) それぞれの物干し台に竿掛け(4個)を付属のネジで取付ける。
 - (2) 物干し台を支柱L, Rの物干し台ブラケットにねじ(M6×20バインド、スプリングワッシャ)で取り付けます。
- ※ 力が掛かる場所なのでしっかり締めて下さい。



10. 配線

(1) 支柱R下部の端子箱のふたを開け、ターミナル端子より電源までの配線をする。

(2) 必ずアースを取ること。(専用のブレーカーを別途電源との間に設けて下さい。)

11. 試運転及び確認事項

※ 試運転は使用者とご一緒に取扱説明書を見ながら、必ず行って下さい。

支柱Rのチェーン固定用テープを外してから試運転を行って下さい。

- ・ 上昇、下降の作動確認
- ・ 上限、下限の停止確認
- ・ 接続部のカラ回りの有無の確認
- ・ 異音の発生の有無の確認
- ・ その他異常の確認

